

女性開業者の割合は過去最高

～「2024年度新規開業実態調査」アンケート結果の概要～

日本政策金融公庫総合研究所は、新規開業企業の実態を把握するために、1991年度から毎年「新規開業実態調査」を実施しています。2024年度調査の結果について、時系列のデータを用いて開業者の属性や開業費用などの変化をみるとともに、開業者の特徴について分析しました。主な調査結果と調査の要領は以下のとおりです。

<主な調査結果>

1 女性の割合は過去最高(本文 3 ページ)

開業者に占める女性の割合は、25.5%と1991年度の調査開始以来最も高く、上昇傾向にある(図-2)。

2 開業時の従業者数は減少傾向(本文 8 ページ)

開業時の平均従業者数は2.9人と、2023年度(2.8人)から2年連続で3人を下回った(図-11)。

3 売上げが「増加傾向」の開業者は6割(本文 12 ページ)

現在の売上げ状況が「増加傾向」である割合は60.0%と、2022年度(52.4%)、2023年度(58.6%)に比べて高い(図-21)。

4 7割以上が開業に「満足」(本文 14 ページ)

開業の総合的な満足度が「かなり満足」であった割合は31.0%、「やや満足」は43.9%と、74.9%が開業に「満足」している(図-25)。項目別では仕事のやりがい(自分の能力の発揮)で「満足」の割合が84.1%と特に高い。

*本調査の詳細につきましては、[こちら](#)をご覧ください

<調査の要領>・調査時点:2024年8月

・調査対象:融資時点で開業後1年以内の企業7,658社

・調査方法:調査票の送付・回収ともに郵送、アンケートは無記名

・回答数:1,990社(回収率26.0%)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第一グループ TEL 03-3270-1687(担当:笠原、桑本)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー